

浜田市地域福祉計画

1 地域福祉とは何か

地域社会を基盤として、誰もが安心して充実した生活が送れるように、自助・互助・共助・公助がともに地域に合った取組を行うことを「地域福祉」と表現することができます。



自助・互助・共助・公助がともに地域に合った取組を行うこと = 地域福祉

2 基本理念

市民の誰もが地域で安心して暮らしていく上で、市民一人ひとりが地域の活動に参加し、地域の困りごとに対して協力し合って解決に導く「意識」を持つだけでなく、「支え手側」、「受け手側」という関係を超えて、だれもが地域の課題を「我が事」として捉え、助け合い、支え合うことが重要です。併せて、地域の課題を「丸ごと」受けとめる場づくりと新たな資源の創出により、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」を実現していくことが必要です。

そのため、これまでと同じく、自らが地域福祉の担い手となってお互いを認め合いながら、主体的に活動していくことができるよう、本計画においても次の基本理念を継続します。

市民を主役に
互いを認め合い 支え合うまち



3 施策の体系

理念

基本目標

地域福祉推進のための施策

市民を主役に

互いを認め合い

支え合うまち

1

地域の活動に市民が積極的に参加する

1 「我が事」意識として捉える地域づくり

2 市民の福祉意識の醸成

3 多様な人材の育成・支援

4 地区組織・団体活動の充実

2

利用者主体のサービスを実現する

1 「丸ごと」支援できる地域づくり

2 情報提供の充実

3 相談体制の充実

4 権利擁護の推進

5 生活困窮者の支援

6 サービスの質・量の確保

3

総合的なサービス提供・連携体制を確立する

1 身近な地域でのつながりづくり

2 重層的な支え合いネットワークづくり

3 保健・医療・福祉と他分野との連携

4

すべての市民が安心して暮らせるまちをつくる

1 心のバリアフリーの推進

2 防災・防犯活動の推進

3 移動手段の確保

4 バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり